

漁師さんも こどもたちも いきものも 元気いっぱい インバウンドわんさか! ラムサール・自然共生サイト/OECM 環境保全は、今の自分たちと100年先の未来の子どもたちのためなんだよね!

▼2月11日(日)午前9時から、中津文化会館小ホールで「豊かな自然を未来につなぐ 公的保全の枠組み講演会」を開催する予定となつています。みなさまふるってご参加下さい。入場は無料です。のでぜひ。

▼つてな具合で、いきなり宣伝から入りましたが、とても大事な講演会になると思います。水辺に遊ぶ会も来年度で25周年を迎えるわけですが、いよいよと言いますか、満を持してと申しますか元気にキャンペーンを行っていききたいと思います。

▼一つは、ラムサール条約の地域指定・ラムサール条約自治体認証、もうひとつは、環境省の自然共生サイト及びOECM指定です。どちらも、自然保護地域ということになるんですが、どつちかというところの内容です。徹底的に生き物を保護するというものではなく、むしろ、そこにある自然と地域で暮らす人々が、うまく付き合いながら上手に活用していくことを中心にしています。

▼日本はラムサール条約に参加していて、大分県ではくじゅう坊ガツル・タデ原湿原の1ヶ所だけが選ばれているんですよ。県内にもう1ヶ所くらいあっていいんじゃないかなとか、その一つに中津干潟を入れて欲しい

なあとか思っているわけです。

▼中津市の環境基本計画には、ラムサール条約地域指定をやりますって書いてあるので、そろそろ進めていくということですね。指定されれば、漁師さんにとっても地域の人々にとってもいろいろいいことがあります。

▼例えば、ラムサール中津干潟ブランドで、魚介類が売れるようになります。自然環境目当てでやってくるインバウンドのお客さまもドンと増えるでしょう。世界に自慢できれば、地域にとつての誇りとなること間違いなし!つてな具合です。

▼自然共生サイトも同じようなものですが、これは「昆明・モントリオール生物多様性枠組み」という国際的な約束事に日本も入っていて、二〇三〇年までに国の陸と海の30%以上を保護区にするという動きの中で生まれたものです。今のところ20%程度しか達成されてないので、どんどん登録しないと間に合いません。

▼自然共生サイトは、今ある国立公園とかの保護区の中でも作っているんだけど、私たちが暮らす普通の場所にも設定することができます。去年あたりから、一般企業さんの社用地あたりがどんどんじゃんじゃん登

録されつつあります。今のところ積水化学工業(株)、サントリーホールディングス(株)、株大林組、キヤノン(株)とかの有名企業がばっかりですが、今のうちなら地方企業が登録すると目立つこと請け合いです。登録の本番はこれからですからね。

▼ただ、こついったものは、どこでも誰でも登録できるというものではなくて、より多くの人々に認められることがとても大切になります。また、貴重な動植物などが元気に暮らしていることも条件になったりします。

▼中津干潟など私たちが登録を目指す場所は、そういったものを軽々とクリアしていると思いますので、今年度から来年度にかけて本格的に、今まで以上に多くのみなさんに知ってもらう活動を行っていくと思っています。

▼そんなこんなの詳しい内容をお伝えするのが、最初に紹介した「公的保全の枠組み講演会」です。少々名前がカタイですが、内容はソフトになるとおもいますので、ご家族、カップルなどお気軽に参加していただけると大変うれしです。みなさまご協力のほどよろしく願います。



★日程は変更になることもあります。詳細はチラシやホームページでご確認ください。

伝言板

水辺に遊ぶ会今後の主な行事予定

公的保全の枠組み講演会 文化会館小ホール●2月11日(日)9:00～
三百間ビーチクリーン●3月3日(日)9:00～
海苔すき体験 北部公民館前予定●3月16日(土)9:00～

★日程は変更になることもあります。詳細は、チラシやホームページでご確認ください。

ご寄付をいただきました。ありがとうございました。 あいおいニッセイ同和損害保険(株)様



中津干潟が育んだ 新海苔できました 購入希望者の方は ご連絡下さいね。

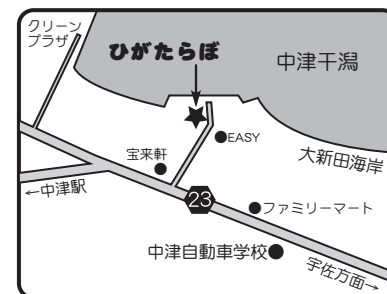


格安一戸建ての借家物件を探しています。

中津干潟には毎年多くの大学生が調査・研究のためにやってきます。中津干潟のヒミツを調べるためならと無償のサポートを行って来ました。今後もお手伝いを続けたいと思っています。いいところあったら教えてください!ただしピンボウなのでそこそこよろしく願います。

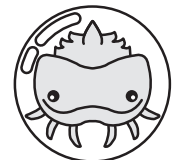
「ひがたらぼ」に遊びに来てね!

生きものや自然・科学が大好きなみなさん!
いつでも大歓迎します。
ここにはいつも何か
話題があります!
お暇なときには
寄ってみてください!
カブくんも待っています!



開館時間
10時～16時
土日祝日休館

電話:0979-77-4396
(ひがたらぼ平日9:00-17:00)
FAX:0979-77-4396
info@mizubeniasobukai.org
http://mizubeniasobukai.org/



あそびながら
じぶんをやってみませんか?
(若い方、気が若い方 大歓迎!)

■2024年!去年よりも仕事がんばる!みなさんよろしくね!(あ) ■来年度からはデベソ改め、縁の下の力持ちに異動の辞令をいただきました。ってあんまり区別ないけどね(や)

■活動報告(2023.11.9～2024.1.2)

11 9 シギチ調査
11 9 ドローン・ベントス調査
11 9 シギチ調査
1110 シギチ・ガンカモ調査
1111 海の絵コンテスト審査
1112 がたがた通信発送作業
1114 大分合同取材協力
1114 水大調査 ～6日
1115 野依新池トンボ調査
1115 如水こども園来所
1115 蛸瀬川清掃
1116 県議来所 ラムサール
1118 野依新池草抜き作業
1119 今津わいわいまつり
1122 中津南総合学習中間発表
1126 お魚感謝デー
12 4 五十石川流域会議
1213 ノースFM出演

1215 野依新池トンボ調査
1215 県希少動植物推進員研修会
1215_16 シギチ調査
1217 中津干潟アカデミア研究発表会
1222 NPO協働推進セミナー
1225 生物多様性大分戦略策定委員会
1228 県自然保護推進室取材協力
1 6 シギチ調査
1 7 ガンカモ調査
1 8 コアママ ドローン調査
1 9 県アンケートへの協力
1 11 環境省九州事務所来所
1 13 市議来所 ラムサール
1 15 野依新池トンボ調査
1 16 うつくし作戦県民会議
1 19 新しい大分県共創会議
1 19 如水コミュニティ生涯学習教室講話
1 21 大新田ビーチクリーン・松林
1 21 冬鳥観察会

水辺に遊ぶ会 秋冬コレクション イベントは夏だけじゃないのだ！



私がうわさの干潟ねこです

保育園や高校のおともだち、環境省のお役人、はたまた理事長同窓生まで、実にいろんな方々がやってきます。お土産よろしく！



今年はシギ・チドリが
ちと少ない！

▼11月9日・10日、12月15日・16日、1月6日・8日に、シギ・チドリ類調査、ガベンツ調査、ガン・カモ調査、そしてコアモ調査などを行いました。



ベッコウトンボや中津ひがたの素晴らしい写真を撮りました。

調査の中心は南港WLGの和田太一さんと、スタッフも一緒にワサワサやりましたよ。今年は、鳥たちが少なめのようです。でもクロツラヘラサギ、ツクシガモなんかはガンバってます。



▼11月18日は、中津市と野依地区からの依頼で行っている野依新池草抜き作業を行いました。スタッフは13名と少し少なめで重労働が予想されましたが、気持ちの



▼11月26日は、小祝港で中津市が行う「お魚感謝デー」のイベントに参加。中津少年少女発明クラブさんとのコラボ作品「カブトガニホバー」

▼11月19日、今津コミュニティセンターわいわい祭りに参加してきました。



▼11月22日は、中津南高等学校の総合学習のお手伝いをしてきましたよ。まずは学校で学生さん達のプレゼンテーションを伺いました。保全活動の問題点をあぶり出し、改善を考えてくれました。その後ひがたらぼに来てくれて、さくばらんにヒアリング。いろいろ考えてくれてありがと。

環境省の皆様も



▼1月16日は、大分市で「うつくし作

も、社会も、元気に！の通り楽しい会でした。



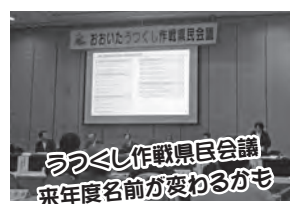
▼12月22日、大分市で開かれた「NPO法施行25周年記念企業とNPOの協働推進セミナー」に参加。テーマの多様な主体の協働により、企業も、NPO

ラフト」には二〇〇人程のお客さんが乗ってくれ、海ごみワークショップにも一〇〇名ほどの参加者が集まってくれました。今年は「豊かな海づくり大会」でさらに大きくやりますかね。

▼12月4日、「豊かな水環境創出 五十石川等流域会議」に出席してきました。長峰、天津、今津の各校区の皆様が集い子どもたちと川に学び、親しむ活動を続けていますが、水辺もお手伝いしています。



▼1月21日、大新田海岸でビーチクリーン・松林整備を行い二〇〇名余りの皆様のお手伝いをいただきました。ありがとうございました。今回は、地元漁師さんの田中清氏



戦県民会議が開かれ、自然保護・観光部会と全体会に出席して来ました。今、県では環境基本計画、長期計画、生物多様性おいた戦略など環境関連の計画の策定を急いで、ここでは県民の意見の聴取を行った感じです。

7回目！ 中津干潟アカデミア研究発表会 中津の海の絵コンテスト表彰式も

▼12月17日は、コロナ明け初となる「第7回中津干潟アカデミア」(Save Japanプロジェクト2023-2024)と「中津の海の絵コンテスト表彰式」大分県まちづくり推進事業」を中央町の生涯学習センターまなびん館を全館借り切って開催しました。

▼今回のテーマは、「OECMに（一）面参照（二）について考える」でした。午前中は、研究発表で研究者や大学生たちの



7回目になる
中津の海の絵コンテスト
今回も758点もの
作品があつまりました！



今年は久々に中津ひがたの幸を
食したりわいわい楽しく
ポスターセッションなんかが
できちゃいました！

最新の成果が披露されました。また、中津南高等学校の生徒による、地域問題解決のためのワークショップの成果についても発表いただきました。

▼お昼前から「海の絵コンテスト」の表彰式を開催。栄えある小学生たちが次々と表彰されました。みんなよく干潟の自然を観察していて審査員も楽しく審査ができました。中

でもこの日集ったお友だちは、飛び抜けてすばらしかったと思います。会場にはカブトガニホバークラブも急ぎよ登場し、何名かのお友だちが実際に載って楽しみました。さ。▼午後からは、シンポジウムを開きました。おおいNPOセンターの山下三氏を司会に、会の事務局担当が、新しい自然保護の考え方である「OECM」について、世界の流れや経済界の動きなどを含めて説明。中津市でも指定を目指している、大新田のセットバック護岸付近と野依新池・植野池の中間地点の重要な地の2ヶ所を取り上げました。

▼各大学の先生方からも専門の立場からご助言をいただき大いに学びを得られました。参加いただいた皆様ありがとうございました。

ホンの紹介

マザーツリー

スザンヌ・シマード 著・三木直子 訳
ダイヤモンド社 発行



●この本は、シマード氏の自伝と自らの森の科学研究史を絶妙に混ぜ合わせながら進行するノンフィクション作品です。

●つまり、カナダの古い森の中で木こりを生業として生きてきた家族の物語でもあり、科学の目で森の植物の知られていなかった対話共生の事実を詳らかにした発見のドキコメントでもあります。

●題名にもあるように彼女が森の巨木が、実は自らの子どもを育てていることを発見しました。同時に、古い森を守り育んでいることもわかったのです。まあその辺りは本編をよく読んで楽しんでいただきたいと思います。

●ところで、私たちヒトは40兆個

んツクシガモやズグロカモメも楽しく観察できました。



▼1月21日午後からは、中津ひがたの冬鳥観察会を日本野鳥の会大分県支部の江口初男氏を講師にお迎えして行いました。定番のハマシギ、ダイゼンなどはもちろん

近い数の細胞でできていると言われています。その実お腹の中など、体全体で100兆個超の細菌などの微生物が暮らし回っています。皮膚の上にも1平方センチあたり10万個もの細菌がざらーと並んでいます。ぜひ想像してみてください。

●そうなるヒトは単に一人の存在ではなく何かが、巨大な歩く生態系と言ってもいいようなものになりそうです。そしてそれは、全体で一つの生き物のように振る舞っているようにみえますよね。

●本編を読んでいただければわかると思うのですが、ヒトという生態系も、森という生態系も何となく似ているということに気づかせられます。

●腸はちよつと樹木が土壌から栄養分をもらうように、食べたものから栄養分をもらいます。その時、ヒトも木も細菌などの微生物の力を借りることでよりしっかりと栄養を吸収できたりするのです。

●というより、それぞれ微生物の力を借りないとなんと生きていけないし、微生物もヒトや木と共に生きることで元気でいられる。そういう共生関係が私たちの周りに満ちあふれていることが深く理解できる一冊です。